

議会だより



見つけたよ！ 僕も私も好きな町



フェリーターミナル
や愛の橋近辺を町歩き
する隠岐共生学園第一
保育所の園児たち。

子どもたちが大きく
なった頃の風景はどう
変わっているのだろう。

- 令和3年9月定例会・臨時会…………… P2
- 令和2年度決算報告・総括質疑…………… P4
- 一般質問・陳情…………… P6
- 議会基本条例…………… P13
- 委員会報告…………… P14
- 採決…………… P16

9月定例会

令和3年9月定例会を9月16日から30日までの15日間開催しました。

主な議案は、令和3年度一般会計及び、特別会計補正予算、条例の一部改正、令和2年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算などが提案・報告され、令和3年度一般会計補正予算は賛成多数、その他は全会一致で可決・認定・同意しました。

町政に対しては12名の議員が一般質問を、議案には1名の議員が質疑を行いました。

また、7月21日に第3回臨時会を開催し、令和3年度一般会計補正予算、工事請負契約を全会一致で可決しました。

主な補正予算

◆観光施設管理運営事業 レストランうみさち管理費 125万円

7月に指定管理者の公募を行ったところ、1団体の応募があり、8月開催の指定管理候補者選定委員会で候補者として選定された。

(候補者は3ページ「指定管理者の指定」に記載)

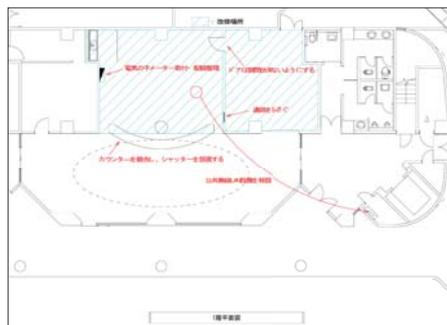
今年度の運営期間(令和3年11月～令和4年3月)の指定管理料を増額補正する。

指定管理料 25万円×5ヶ月



◆観光宿泊施設整備事業 隠岐ポートプラザ改修事業 467万円

隠岐ポートプラザ1階の空きスペースについて、現状はカウンターやカーテン等により仕切った区画となっているが、防犯上施錠可能で個別運営可能な区画となるよう改修工事を行う。



◆五箇へき地診療所 診療所施設維持管理費 133万円

7月29日に診療所外壁が剥がれ落ち、更に台風による歪みなどから外壁全面を張り替える補修事業。

◆運動公園再編事業 800万円増額 (総事業費 2億1400万円)

当初予算であがっていた「スケボーパーク再編工事」を延期し、次年度に計画していたレインボーアーリーナのロータリーを改修し、園路フェンス設置工事を行う。

そして長寿命化事業としてナイター照明設備も改修する。



久見のへき地診療所

主な条例改正

◆上水道事業給水条例の一部を改正する条例

現在、貯水槽を有する共同住宅では、住宅全体の給水量をひとつの水道メーターで計量し、料金を徴収している。本改正は水道メーターを各戸に設置することにより、各戸で給水量の計量及び料金の徴収を可能にするものであり、併せて現状に即した所要の改正を行う。

工事請負契約の締結

◆運動公園野外照明施設長寿命化工事

5者による指名競争入札で、株式会社中電工隠岐営業所が1億3,145万円で落札した。

◆隠岐島文化会館大ホール照明設備改修工事

5者による指名競争入札で、有限会社赤沼電工が8,580万円で落札した。

◆特定環境保全公共下水道重栖真空ステーション電気機械設備工事

5者による指名競争入札で、有限会社旭電機が5,170万円で落札した。



文化会館大ホール

指定管理者の指定

◆隠岐の島町コミュニティ・アイランド施設ビジターセンター（レストランうみさち）

公募により、山陰観光開発株式会社を指定管理者として選定した。

（期間：令和3年11月1日から令和6年3月31日まで）

選任同意

◆隠岐の島町固定資産評価審査委員会委員

任期満了に伴い、新たに3名の委員を選任した。（期間：令和3年10月1日から3年間）

西山 哲夫氏 脇田 千代志氏 吉田 篤夫氏

7月臨時会

主な補正予算

◆新型コロナウイルス対策水産事業者支援事業（バイ籠漁） 2,000万円

◆新型コロナウイルス対策商工事業者支援事業（宿泊業・飲食業） 3億9,085万円

新型コロナウイルス感染拡大やその対策の影響により、収入の減少が見込まれる事業者に対し、補助金を支給することで事業の継続や雇用の安定維持を図ることを目的とする。

工事請負契約の締結

◆佐々木家住宅保存修理工事

本工事は専門的、伝統的な技術及び知識が必要である。これまでの経験や実績があり、技術の継承がなされていることから、株式会社吉崎工務店と6,650万円で随意契約をした。

令和2年度 歳入歳出決算を認定

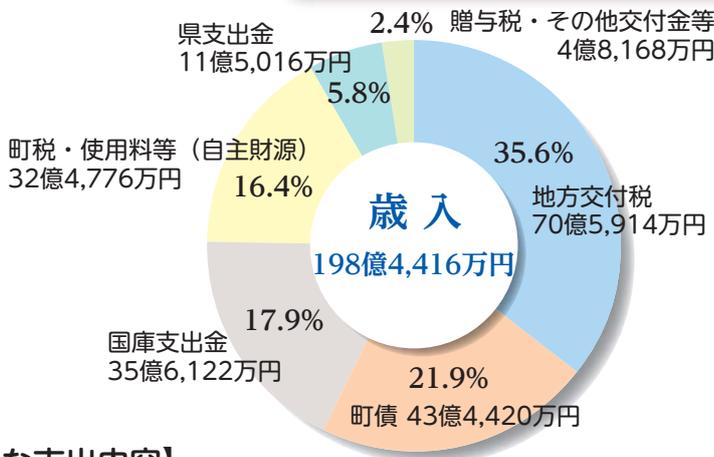
一般会計・特別会計(11会計)・上水道会計(企業会計)の決算額一覧

区 分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支額	
一般会計	198億4,416万円	195億5,582万円	2億8,834万円	
特別会計	国民健康保険事業	19億6,240万円	19億2,461万円	3,779万円
	国民健康保険施設(中村診療所)	9,286万円	9,279万円	7万円
	国民健康保険施設(五箇診療所)	1億1,544万円	1億1,347万円	197万円
	国民健康保険施設(都万診療所)	1億3,078万円	1億2,409万円	669万円
	下水道事業	19億9,335万円	19億9,289万円	456万円
	駐車場事業	1,855万円	1,772万円	83万円
	訪問看護事業	2,367万円	2,301万円	66万円
	布施へき地診療施設事業	3,894万円	3,809万円	85万円
	五箇へき地診療施設事業	932万円	913万円	19万円
	中財産区	1,415万円	87万円	1,328万円
	後期高齢者医療保険事業	4億2,220万円	4億1,797万円	423万円
	特別会計(合計)	48億2,167万円	47億5,465万円	6,702万円
一般会計・特別会計(合計)	246億6,584万円	243億1,046万円	3億5,538万円	
上水道事業(企業会計)	5億7,588万円	5億2,823万円	4,765万円	

注：万円単位表示により収支額等に不一致あり ・ 企業会計金額(税抜き)

一般会計 歳入・歳出内訳

全体会計(合計)



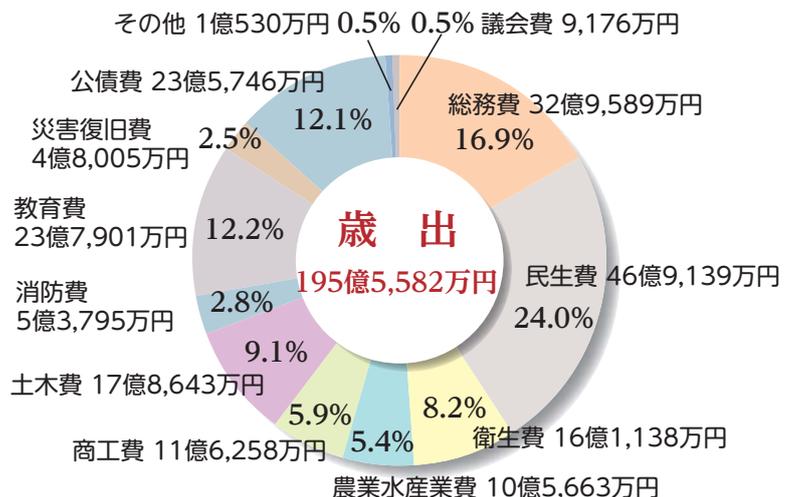
自主財源の内訳 (32億4,776万円)

- 町税……………15億2,126万円
- 分担金及び負担金……………1億8,304万円
- 使用料及び手数料……………3億1,845万円
- 財産収入……………1,411万円
- 寄附金……………2,741万円
- 繰入金……………6億5,159万円
- 繰越金……………1億4,082万円
- 諸収入……………3億9,108万円

【主な支出内容】

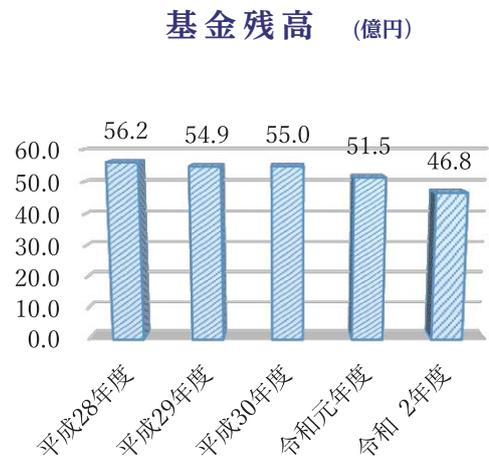
- 総務費**
 - 庁舎整備事業……………12億4,874万円
- 民生費**
 - 特別定額給付金……………13億9,633万円
 - 高齢者福祉費……………6億1,414万円
 - 児童福祉費……………10億4,650万円
- 衛生費**
 - 隠岐病院運営支援……………5億8,411万円
 - ゴミ処理費……………3億9,450万円
- 商工費**
 - 新型コロナウイルス対策
 - 商工事業者支援事業……………3億4,996万円
 - プレミアム商品券……………1億831万円
- 教育費**
 - ジオパーク中核施設整備……………9億7,371万円

目的別支出



厳しさを増す財政運営

町債発行残高・基金残高の推移（一般会計）



備考：R2年度 特別会計・上水道会計の町債残高 約87.6億

令和2年度決算の概要

決算関係資料より（一部抜粋）

令和2年度決算は、歳入歳出ともに町村合併以来最大の決算規模となったが、新型コロナウイルス感染症対策や8月豪雨災害復旧の特殊要因を除けば、昨年度決算額をやや下回る決算額となった。

しかし、庁舎整備事業等の大型事業が継続したことで、町債の新規発行額が償還額を上回る状況が続き、健全化比率は悪化の傾向が見られる。

今後も一般廃棄物処理施設整備事業など、大規模事業が続くが、総合振興計画を進めるための積極的な財政出動と、財政全般の健全化・効率化を踏まえた歳出抑制、「選択」と「集中」により持続可能な財政運営を進めて行く必要がある。

予算・条例をチエック

総括質疑

質問した議員

西尾 幸太郎 議員

西尾議員 今回、指定管理の指定と、それに伴う管理料の補正が提案されているが、議会に示された資料には、どのような事業提案があったのか示されていない。詳細説明を。

商工観光課長 「レス・トランうみさち」の指定管理の候補者は「山陰観光開発株式会社」で、隠岐ならではの食の提供を行うという事業提案である。また、候補者は本町内で旅行代理店を営んでおり、旅行商品と併せたパッケージ販売やネット予約など利便性を高めるための取り組みも行いたいとのこと。

西尾議員 シーカヤックなどのマリンスポーツ施設もあり、都万地区の皆さまと連携し、都万地区の観光拠点施設となるように盛り上げていきたいとの提案であった。

以前にも指摘したが、議会資料に、説明したような内容を示しておけばと思うが。

総務課長 次回の議会にも指定管理の議題を上程する予定と、検討する。

施設近辺にはテニスコートやスキューバダイビング、



町政に問う！

町長

…町長

教長

…教育長

担当課長

…担当課長

問

…議員質問

一般質問

紙面上、質問と答弁は要約した内容となっております。
 全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載します。
 またYou Tubeにて動画も公開しており、スマホや
 タブレットから右のQRコードを読み取ると簡単に
 アクセスできます。



久見地区入り口の災害現場



たかみや よういち 議員
 高宮 陽一 議員

Q 公の施設の民間への譲渡・売却状況は。

A 引き続き、協議を行う。

問

第2次総合振興計画が策定されたが、行財政改革に取り組む町の姿勢が見えない。また、町村合併以降の行財政改革では、「民間で出来ることは民間で」という方針のもと、町有の高齢者福祉施設や宿泊施設は廃止・譲渡・売却する計画であり、関係者と協議を進めると答弁していたが、その後、どのような協議をしてきたか。

町長

高齢者福祉施設の社会福祉法人

では、新型コロナウイルス感染症への対応により、協議が滞っている状況であり引き続き、協議を進める。宿泊施設では具体的な協議を行っていない。課題を整理した後、協議の時期を判断したい。

なまちづくり」「3つの良かったが響くまちづくり」を目指している町長として、トップダウンで対応すべき事柄ではないかと思う。また、各支所・避難所等に非常電源を配備すべきと思うが。

Q 道路沿いの電線・電話線周辺の立木伐採の調査・検討状況は。

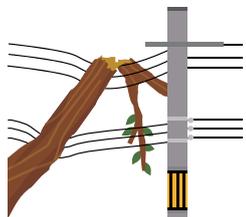
A 危険個所の情報を収集しながら、計画的に進める。

問

電線・電話線周辺の立木伐採については、以前も質問したが、町長は「今後、計画的に実施していく上で調査検討したい。」と、答弁していたが、どのような調査・検討をしたのか。貴重な財源を使うことは勇気があると思うが、「自然災害に強く、安全・安心で快適

町長

電力会社では、5ヶ年計画で点検・伐採作業を行っていると同っている。本町でもお知らせ便で、私有地から道路上に張り出している樹木の伐採をお願いしている。今後も危険個所の情報を収集しながら計画的に進める。また、非常電源については、各支所・出張所にポータブル発電機を配置し、避難所には本庁で一括管理し、停電時に素早く対応するよう整備した。





あべ だいすけ 議員
安部 大助

Q 希望検査の助成を。

A 課題もあり現時点では考えていない。

問 全国的に新型コロナウイルスは減少傾向にあるが、緊急事態宣言解除後に人流が増え、第6波が来るのではないかと懸念されている。ウイルスもより感染力が強くと、ワクチンを接種した後も感染をおこすデルタ株へと置き換わっている。そのため、多くの自治体で検査範囲を拡げ、希望検査に対しても軽減を図っている。

本町での希望検査は、隠岐病院において

1万3000円と高額な費用を負担しており、検査費用の助成を考えるべきと思うが。

町長 感染拡大を防止するには広く検査を受けることが肝要と考えるが、助成対象者やニーズ、医療人材をはじめ検査体制の確保の課題を考慮し、現時点では考えていない。町としては「行政検査」をまずは推進したい。

Q 商工観光業推進に向け、検査簡易キットの活用を。

A キットの活用はせず、現状の検査体制を継続していく。

問 今では、多くの住民がより危機感を持ち、感染防止に努めている。

しかし、本年7月の大型連休、お盆の帰省時期では島外から多くの方が来島され、「住

民は我慢しているのに、何で島外の人はおうこそになつているのか」という厳しい声も頂いた。今後、商工観光業の推進を進める上では、町民に対しても安心な環境をつくっていく重要性を感じた。現在、検査簡易キットを活用する事業者や自治体が増えてきている。本町においても検査簡易キットを活用し、商工観光業の推進と住民の安心な環境をつくるべきと考えるが。

町長 検査簡易キットは利点もあるが、採取が難しく信頼性などに課題もあることから今のところ考えていない。水際対策については、空港・港で検温など現状の検査体制を継続していく。



よねざわ としげ 議員
米澤 壽重

Q 国府尾城跡周辺を自然公園に。

A 公園整備は考えていないが、活用方法は検討する。

問 本町には中世の山城が15ヶ所確認されている。この山城に入場した山中鹿之助は、浮世絵や小説の題材となって登場し、歴史上の英雄として広く知られている。本町が誇る、かけがえのない貴重な文化遺産である山城を保存し、後世に伝える努めは、私たちに課せられた使命であるが、山城はいづれも急峻な地形となっており、散策道の整備は遅れている。

十分な現地調査を

施し、安心・安全な散策道を整備すべきと考えるが。

町長 山城は山の木々に覆われて、「ここが城跡だ」と明確にわかる状態ではない。現状では城跡に散策道を整備することは困難である。

問 国府尾城跡は比較的ならかな地形と見受けられ、また、眼下には西郷湾が広がり、新たな観光資源としての活用が期待される。

さらに、町民の「憩いの場」「安らぎの場」として、国府尾城跡周辺を自然公園として整備すべきと考えるが。

町長 国府尾城跡には石垣が残っており、館跡と思われる場所もあり、大規模な発掘調査が必要となる。現段階では自然公園の整備は考えていない。

問 本町の山城は、特に目立った調査は実施されていない。

い。この貴重な歴史的な文化遺産を、更に解明する観点からも、計画的な発掘等の調査を実施すべきと考えるが。

教長 これまで、現地に登り、平面図を作成するなどの調査をしてきた。山城があったのではないかと思われる他の場所の調査も予定している。



かっぱ公園から見た城山



ふじの さだゆき 藤野 定幸 議員

Q 離島漁業再生支援交付金事業の町の今後の取り組みは。

A 書類に不備があったが、再調査はない。

問 25・26年度の事業内容を漁業集落が精査したところ、新たな事実が判明したが、その見解は。

町長 事実を認識していないので、再調査はしない。

問 漁業集落と、事務局が協力して、事業が実施されたか精査して、町民に説明すべきと考えるが。

町長 漁業集落の業務は、もちろん実施するが、再調査の協

力は考えていない。

Q 隠岐の島町水産業振興計画の進捗状況は。

A 第2次総合振興計画に併せて、検証している。

問 水産物の加工・特産品開発・漁船の更新と廃船について、具体的な取り組み状況は。

町長 6つの事業所が6次産業化に取り組み、イベント等でPRを行い、販路拡大を実施している。また、廃船処理については、2年間で24隻処理している。

問 FRP漁船は、現在何隻あるのか。どのように取り組んでいるのか。

担当課長 廃船が必要な船舶が約200隻あると推計する。目標に向けて廃船処理を推進する。

Q 町の財政状況は大丈夫か。

A 財政指標からは正改善は必要ない。

問 令和元年度の全会計の負債額が387億円であるが、財政状況についての見解は。

町長 町財政運営は、財政指標からも、是正改善を必要とする事項はないと認識している。

問 48億円の基金が、令和2年度末に一般会計等に繰替運用されているが、基金条例に則しているか。

町長 各基金条例に則し、財政運営上必要がある場合、繰替運用を行っている。



さいとう のりこ 齋藤 則子 議員

Q 文化財保護の推進を。

A 出来ることから、調査・研究を行う。

問 県は今年3月文化財保存活用大綱を出し、「文化財を知る、伝える。」「守る、つなげる。」「活かす」の3つの基本方針を掲げている。

京の都と密接な歴史を誇る本町には、まだ多くの文化財が埋もれている。例えば室町時代の「黒仏」は、崩壊寸前だ。二度にわたる早稲田・東北両大学の仏像彫刻の教授たちによる調査により、早急に仏像の保護・調査が必要と指摘があった

が、町長の考えは。
町長 文化財の指定など、保存・活用に関しては、「隠岐の島町文化財保護審議会」に諮問し、調査審議する。

町内には、現在、国・県指定も含め、74の文化財があり、その保存・活用、更に多数の未指定文化財を、出来ることから調査・研究を行っている。

問 その見直しの目的は何か。また、両施設の運営委員会は、長らく開催されていないが、その理由は。

町長 少なくとも、5〜6年間は開催されておらず、これは、運営委員会の怠慢で、私の責任だ。

問 隠岐郷土館・五箇創生館の展示見直しを。

A 今後の施設の在り方を検討中である。

両施設の新たな運営方法、その役割、展示内容の見直しを含め、令和3年度中に結果や方向性を出し、もう一度協議をしたい。

だ。今一度、両施設の設置管理条例に立ち返って見直しが必要だと思うが。

町長 展示方法や説明内容は、見直しをしており、両施設とも五箇支所を中心に、今後の施設の在り方を検討中である。

問 その見直しの目的は何か。また、両施設の運営委員会は、長らく開催されていないが、その理由は。

町長 少なくとも、5〜6年間は開催されておらず、これは、運営委員会の怠慢で、私の責任だ。

問 両施設の新たな運営方法、その役割、展示内容の見直しを含め、令和3年度中に結果や方向性を出し、もう一度協議をしたい。

両施設の新たな運営方法、その役割、展示内容の見直しを含め、令和3年度中に結果や方向性を出し、もう一度協議をしたい。

者も置かず、役場職員



おかだ ともこ 岡田 智子 議員

Q 災害時における住宅支援マニュアルの作成を。

A 居住の不安解消のために策定したい。

問 2年連続で豪雨災害や台風による浸水被害、住宅の破損等、多数あった。災害に強い居住環境づくりとして、「災害発生時における住宅支援マニュアル」を作成する考えは。

町長 被災者の居住不安解消のために、提供戸数や家賃免除など盛り込まれたマニュアルを策定したい。

Q 提案した「お茶の間SDGs」の見解は。

A 第2次総合振興計画に掲げた体制により実施していく。

問 私は女性ならではの視点を活かして、誰もが身近に取り組める活動や、環境学習を実施している。持続可能な地域社会の形成を進めるためには、SDGsの理念が必要不可欠であり、町長の「良かったが響く隠岐の島町」につながる取り組みでもある。

そこで、官民連携によるSDGsの推進についての考えと、私の提案した「お茶の間SDGs」についての見解は。

町長 全体的なSDGsの推進については、町民と行政との連携、協力無くして、町の将来像の実現はあ

り得ず、一体となって推進していく。また、一人ひとりが出来ることから取り組み、大きな流れを創り出すことも重要であると考えており、個々の取り組みを周知する仕組みを検討する。

「お茶の間SDGs」については、第2次総合振興計画に掲げた体制により実施していく。



お茶の間SDGs



Q 町民と役場職員のため、本庁舎の環境改善を。

A 昼食時の業務体制は検討し、喫煙所はルールを徹底する。

問 昼食時に来庁する住民の方から見て、各課自席での食事をする光景は、民間企業での窓口業務では考えられない。

本庁舎敷地内に設置された分煙場所が、車の来庁者から必ず目に留まる場所に設置されていく、いつもそこに人影を見ることが、急務勤務ととらわれがちではないか。庁舎内の環境改善は全庁的に意思統一し、取り組む必要があるのでは。



まきの まきこ 牧野 牧子 議員

町長 昼食時における就業体制の改善は、来庁頻度の高い本庁舎一階を中心に検討する。喫煙場所の移動やパネル設置などよりも、まずは喫煙所内での喫煙ルールを守らせる。

Q 新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷に対する防止策は。

A 短期的には広報などの啓発活動、長期的には研修会を行う。

問 今回の感染者の方々に対する誹謗中傷が無かったとはいえない。新型コロナウイルスは、現在も、感染力の強い変異株へと進化を続けており今後、誰もが感染しうる病気である。

正しい情報をもとに冷静な行動ができるよう、誹謗中傷防止に向け、さらなる啓発活動

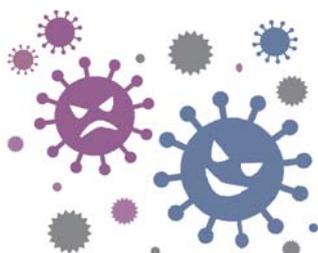
を必要があるので。

町長 感染確認以来、広報や防災無線による啓発活動、人権について考える研修会を実施した。

今後も島根県人権啓発推進センターと連携し、相談体制などを確保する。長期的に研修会を通して、誹謗中傷防止に取り組んでいく。



庁舎内の喫煙所





池田 賢治 議員

Q 「大山隠岐国立公園」を基盤とした取り組みの推進を。

A ジオパーク推進協議会と連携を図り認知度を高める。

問 昭和38年4月に指定された「大山隠岐国立公園」の名

称が薄らいできてきているように思われる。国立公園を基盤に「訪れて良かった」の政策を図るべく、広く情報発信し、基幹産業である観光振興の取り組みを推進すべきと考えるが。

町長 国立公園という名称が薄らいできているのは否めないと思っている。今後、さらに「隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会」と関係機関が連携を図りながら、誘客促進動画の配信など情報発信に力を入れたい。

Q 新型コロナウイルス対策と学校教育の取り組みは。

A 健康管理と偏見や差別が生じない環境づくりに努める。

問 新型コロナウイルス感染症の「第5波」

の収束が見通せない中、現状の学校教育を守りながら、児童・生徒に不安とストレスが発生しないように、学習の機会を確保する必要があると考えるが、感染防止対策の取り組みは。

教長 学校と家庭が連携し、継続した健康管理の徹底と、偏見や差別が生じないよう、心の健康状態に配慮した学校環境づくりに努め、学校教育を進めていく。



村上 謙武 議員

Q 行財政改革を断行すべきでは。

A 選択と集中による質の高い行政サービスに取り組む。

問 本町の経済状況をしっかりと検証し、今後の財政運営の在り方について再考すべきではないか。

深刻な財源不足が続く状況で、健全な財政運営をどのように確立していくのか。

町長 持続可能な財政運営のため、基金等を活用した財政の重点配分を行い、町の景気対策、活性化を視野に入れた事業に取り組む。

問 健全で持続可能な財政運営を実現

現するためには、現実を直視した行財政改革を基本方針を策定し、財政危機を回避するための行財政改革を最優先でやるべきでは。

町長 職員の意識改革や能力向上を図り、選択と集中の徹底による質の高い行政サービスに取り組む、健全な財政運営に引き続き努める。

問 総合振興計画は行財政改革大綱の内容を兼ね備えており、事業効果の目安となるKPI（重要業績評価指数）も設定している。

Q ふるさと納税事業の評価は。

A 土台はできたと感じている。

問 本町でも令和2年度の納税額、寄附件数とも大きな増加が見られたが、他の自治体と比較すると、寄附額、寄附件数とも

に、その差が更に大きく開いた。本町のふるさと納税事業についての評価は。

町長 生産者と委託業者による在庫管理を徹底し、返礼品は38品目から105品目に増加している。今後さまざまな展開ができる土台はできたと感じている。

問 ふるさと納税事業に特化した地域経済振興策を打ち出し、地場産業の活性化を実現させる考えは。

町長 これまでと同様に「売れるもの作り」を行うことで地場産業を活性化させ、ブランド化を推進したい。



国立公園としての魅力発信を



ふるさと納税返礼品



きくち まさふみ 議員
菊地 政文

Q 防災対策や支援を。

A 様々なケースを想定し、対応する。

問 地球温暖化に伴う線状降水帯が豪雨災害などを引き起こしており、島の安全と防災については喫緊の課題である。

「自主防災」は、非常時においては即時即応ということ、地域の日常時には隣保共同ということ、地域密着でしかできない活動と思われる。高齢者・独居・障がい者・乳幼児、それぞれの状況に応じたきめ細かな支援も必要だ。



浸水被害の多かった重栖川近くの集落

今までにない大きな災害がいつ発生するか

分らないが、本町や関係機関などが連携し、様々なケースを想定した訓練をすべきと思われる。

そこで、本町の災害

に対しての普段からの備えを3点伺う。

① 防災・減災の強化についてどのよう

考えているか。

② 各種の防災訓練について、どのよう

画しているか。

③ 迅速な復旧と復旧支援について、どの

ように考えているか。

町長

① 地区防災訓練の開催支援や

防災講演会などで防

災意識の向上が図れ

るように取り組んで

いる。

② 県・町の総合防災訓

練など住民参加を意

識した訓練も計画し

ている。

③ 被災者生活再建支援

支給事業による支援

を予定している。ま

た、住宅に流入した

土砂の撤去、災害ご

みの処理は町が責任

を持って処分する。



にしお こうたろう 議員
西尾 幸太郎

Q ダムの越流対策について関係機関との協議を。

A 対策を強く要望していく。

問

本町では、昨年今年と50年に一度と言われる豪雨により、人命に関する被害はなかったものの、各地でがけ崩れや浸水被害など甚大な被害が発生した。

銚子ダムでは2年連続で貯水できる最高の水位を超える越流が発生し、八尾川流域の住民は大きな恐怖と不安を感じた。

また各地域でも河川や砂防ダムなどへの不安について耳にした。本町の災害に対する

「強靱化」の検討と、特に銚子ダムについては貯水量の拡張など関係機関との協議が必要と考えるが。

町長

従来の基準によ

り整備されたイ

ンフラの中には、近年

の異常気象に対応しき

れないものもあると考

えている。

銚子ダムは平成12年

3月に竣工したが、現

在の貯水容量は昭和15

年から平成3年までの

雨を分析して、24時間

雨量230ミリを想定

し算定しており、これに

対し昨年は、24時間で

365ミリ、本年は2日

間で510ミリの雨量

となった。県も本年度、

越流に対する分析・ダ

ム諸元の妥当性を検証

するとのこと、県に対

し銚子ダムの越流対策

を強く要望していく。

問

平成26年に策定された「隠岐の島町地域防災計画」は、策定から7年が経過しており、県への要



急がれる防災対策

望事項を盛り込むことも含め、再検討が必要では。

町長

現在、新たな「地域防災計画」を2ヶ年で策定することとしている。

議員が指摘した部分も含め、異常気象に対応できる「地域防災計画」の策定に向けて取り組む。



まえだ よしき 議員
前田 芳樹

Q 山林の固定資産税減免措置を。

A 保安林指定になれば非課税措置を取る。

問 350町歩の山林を所有する集

落単位の生産森林組合が毎年35万円余の固定資産税を長年払い続けて留保金が底をつき、山林からは見合う収益も出ず、地域も限界集落と化し、山林を所持し続ける意義が失せてしまい、全て売却することを組合員で決議したという。

山林は経済的価値を失い、山林所有者の手元には全く利益は残らない。利益が出ないのだから課税対象から除

外してもよさそうな現状だ。町条例で山林固定資産税減免はできないはずだ。

区の存続基盤となつて保安林の役目も果たしている地域共有林を保持させるために、そのような団体の山林固定資産税の減免措置は取れないか。

町長 固定資産税は、登記簿上の所有者に課税している。

県からの保安林指定が確認できたときには非課税措置を取る。

Q 町道沿線の雑木伐倒・除草と河床の木竹伐採・堆積土砂撤去を。

A 適切な管理に努める。

問 ①町道久見20号線と漁港関連

道の全区間で沿道の雑木が道路の視界を妨げているが、伐倒されずに管理責任が果たされていない。

道路の見通しを良く整備しておくべきでは。

②この区間の除草はいまだに施工されずに放置しているが、夏草が沿道を覆う7月中旬までには管理者である町がしておくべきでは。

③久見川では大雨のたびに同じ箇所ですぐに洪水が発生して道路が冠水し通行不能になる。河床の木竹の伐採や堆積土砂の撤去を数年に一度はしておくよう県に要請するべきでは。

町長 ①適切な町道管理に努めて行く。

②来年度以降は適切な時期に除草を実施して行く。

③県は月1回の巡視で優先順位をつけて随時実施している。



皆 様 か ら の 陳 情

	件 名	提出者	付託委員会	審査結果	理 由
陳 情	大城台地の墓地の環境整備に関する陳情	大城墓地環境整備協議会 会長：新宮 貴司	総務教育民生 常任委員会	採 択	都市計画にも重要な場所で環境整備が必要なため
陳 情	愛の橋の早急な架け替えを求める陳情	交通安全母の会 港町代表：篠原 カズ子 中西 みね子	産業建設 常任委員会	採 択	早急かつ適切な対処が必要であるため
陳 情	八尾川の治水対策と愛の橋の橋梁工事期間中の安全対策について	隠岐の島町港町 近藤 ひとみ 外6名	産業建設 常任委員会	採 択	早急かつ適切な対処が必要であるため

「新しい提案」実行委員会（責任者：安里長従）から提出された陳情「辺野古基地建設中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情」及び、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマヤフー」（代表：具志堅隆松）から提出された陳情「人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること」の2件は「配付」とした。

議会基本条例をつくるため 検討しています

隠岐の島町議会では、本年6月定例会において「議会基本条例策定特別委員会」を設置しました。その後、条例内容について協議を行い、来年9月定例会での策定に向け調査研究を始めました。その中で、議会の役割や機能の強化、住民と議会や住民参画を目指した内容も盛り込む予定です。今後も協議内容など途中経過をお伝え致します。

議会基本条例って何？

近年、地方分権の進展とともに、地方自治体の裁量権が広がり、議会および議員の果たす役割の重要性がいっそう増えています。

議会基本条例は住民の代表機関である議会が、真の地方自治を実現するために、行政機関と住民にどう向き合い議会運営すべきかについて独自のルールを定めるものです。

条例には主に、議会・議員の責務、行政と議会の関係、住民と議会の関係、情報公開の仕方、住民参画についての内容などが盛り込まれます。



【オキタクん】

なぜ隠岐の島町議会に基本条例が必要なの？

議会および議員の果たす役割の重要性がいっそう増えている中、一方では、町民から議会に対して厳しい目が向けられています。このような状況下で、本町議会においても自ら議会の活性化と改革に向け積極的な取り組みが求められています。町民の負託に的確にこたえ、福祉の向上及び町政の発展、豊かなまちづくりに寄与し、より町民に信頼される議会を築かなければなりません。

現在どのような検討がされているの？

特別委員会では、先進自治体の議会基本条例を参考にし、基本条例の大まかな流れと、条例項目の比較を行いながら、本町議会に合った必要な項目について調査研究を行っています。

今後は、議会基本条例について住民アンケートも実施する予定です。

【条例に盛り込む予定の項目】※今後、議論を重ねる中で内容を更新していきます。

- 議会・議員の活動原則
- 議会の機能強化
- 町民参加及び議会との連携
- 災害時の議会対応
- 町長等と議会の関係 等



【ローソクん】

施設の修繕・活用は将来に目を向けて!

審査の状況・結果

◆ 隠岐町村会負担金（法外）レインボープラザ運営に対する支援策について

コロナ禍によりレインボープラザの運営に深刻な影響がでていことから隠岐町村会でレインボープラザ特別支援事業交付金を交付することとなり、それに伴う各町村負担金及び算定方法の説明が執行部からあった。

委員から算定基準に宿泊部門と同様に飲食部門も含まれていることに指摘があった。

今回は容認するが、飲食部門が含まれていることに対し、再度町村会事務局に確認をするよう指摘をした。



交付金の各町村負担額

海士町	851千円
西ノ島町	1,046千円
知夫村	345千円
隠岐の島町	4,413千円

◆ 五箇へき地診療施設事業補正予算（久見診療所）

7月29日に診療所の外壁が剥がれ落ち、更に台風による歪みなどから外壁全面を張り替える補修事業である。委員からは「補修より建て替える考えはないのか」という意見があり、「今は原状回復を考えており、建て替えについては検討していない」との回答だった。

築60年あまり立つ医療施設ということから将来的なことも考慮し、一度調査をして建て替えも含め検討するよう指摘をした。

◎ 決算審査

◆ 総合学習センター（旧今津小学校）の今後の活用について

廃校の後に教育委員会として使用していたが、新庁舎に移転したことにより今後は「文化財保存施設」として町の活性化につなげるとのことである。

各支所とも連携し役割分担もしていくよう委員から指摘があった。

◆ 高校魅力化事業 高校寄宿舎の寮費助成について

隠岐高校、隠岐水産高校の寮生にひと月5000円の補助が適当なのか否かという質疑があった。

委員会でも改めて質疑をしたところ、他の県立高校に比べ補助額が低いのは承知している、そして両高校からも要望も出ている。物価の高騰もあることか

ら前向きに検討していくという回答だった。

所管の調査事項

◆ 子育てビジター交流センター設置場所の検討結果について

放課後児童クラブの受け入れ児童拡大のため町直営の児童クラブを設置し、また今津子育て支援センターの機能を併設することで包括的な子育て支援拠点として機能させることにより、子どもたちの健全な育成を図る目的である。

執行部から設置場所に旧文化幼稚園舎を候補に調査を進めてきたところ、築約100年、現在地に移設後60年が経過しており、柱などの傾斜や床下素材の腐朽などがあり現行の建築基準法に対応するには大規模な改修が必要となる。また改修

したとしても耐用年数がかかり過ぎていことから、長期の使用は難しいとの調査結果に至った。

園舎の活用が困難であることから、設置場所の再検討をし、他の候補地を模索した。メリット・デメリットを調査し模索した結果、旧文化幼稚園の場所がふさわしく設置場所とした。

委員会では、既存の建物の撤去や近接地の取得に費用がかかることが懸念されるが、子どもたちの健全な育成を図るため、今後調査・研究を続けていく。



旧文化学院幼稚園園舎

公共施設の適正な指定管理料の策定と事業の精査を！

審査の状況・結果

◆一般会計補正予算レストラうちみさち指定管理料

レストラうちみさちの指定管理料125万円（5ヶ月分）に関して、その内訳及び、指定管理料に対する考え方について担当課に詳しい説明を求めた。

1ヶ月25万円の指定管理料は、指定管理者が施設の管理運営を継続していくために最小限必要な管理料であるとの判断に基づき決定したとの説明があった。委員から防火管理者に対して人件費を支給することは公平性を欠くとの意見や、支出根拠の説明が不十分であり、管理料を見直すべきとの意見が出た。

一方で、防火管理者の人件費に問題はあるが、指定管理料は妥当な金額であり、地域の振興と施設の有効活用

を実現するためには認めざるべきとの意見があり、委員会採決は可決すべしとした。

今後、指定管理料の設定に際しては、綿密な協議に基づき、適正な指定管理料の設定に努めるよう指摘した。

◆運動公園再編事業

委員から、補正予算で行う緊急性がないのではないかと、当初予算に計上し実施すべきなどの様々な意見が出た。

本年度事業であるスケボーパーク再編事業の延期に伴い、当該予算約6000万円を使い、隣接するレインボーアリーナ入り口のロータリー改修工事と、グラウンドの園路フェンス設置工事を前

委員会は、次年度予算編成に向けた事業の精査と適切な事業実施に向けて、不断の努力を続けるべきと指摘した。

所管の調査事項

◆木質ペレット製造施設管理運営事業

ペレット製造開始から4年目を迎えたが、島内のペレット需要が伸びないため、製造量が増加しない状況にある。ペレット需要の大幅な増加が期待される民間事業者によるペレット発電に関して、事業が進展しているとの情報もなく、製造量の低迷が続いている状況である。

◆中村診療所・中出張所新庁舎建設事業

令和6年2月の竣工に向け、準備作業が進行しており、令和4年度に建設用地を取得し、令和5年度から建設工事の開始予定となっている。中村診療所付近に隣接する土地2ヶ所が建設候補地となっており、バリアフリーの避難所（防災）、

地域振興を兼ね備えた複合施設が完成する予定である。



候補地平面図

◆西郷港周辺地区整備事業

西郷港ターミナルエリアの呼称を西郷港周辺地区に変更し、デザインコンペの実施要項が策定され、10月1日よりデザインコンペ審査に向けての作業が始まった。

第1期の整備事業は令和5年度から令和9年度まで5年間、第2期は令和10年度からの5年間で、全体事業の期間は2期10年の計画である。

採決の状況

賛成多数で可決した議案

件名	岡田	牧野	藤野	齋藤	田中	大江	村上	菊地	西尾	池田賢	安部	前田	石田	高宮	米澤
令和3年度一般会計補正予算（第5号）修正案	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×
令和3年度一般会計補正予算（第5号）原案	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○

〔修正内容〕 一般会計補正予算のうち、レストランうみさち管理費、運動公園再編事業について。
修正動議に対しては藤野定幸議員が「賛成討論」を行いました。

修正動議とは：議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて議案を修正することができる。議案の修正を行う場合その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を議長に提出する。

全員一致で可決・認定・同意した議案

令和3年度国保事業勘定特別会計補正予算（第2号）	令和3年度国保施設勘定（中村診療所）特別会計補正予算（第2号）
令和3年度訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）	令和3年度国保施設勘定（都万診療所）特別会計補正予算（第2号）
令和3年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	令和3年度国保施設勘定（五箇診療所）特別会計補正予算（第2号）
令和3年度上水道事業会計補正予算（第1号）	令和3年度五箇へき地診療施設事業特別会計補正予算（第2号）
手数料徴収条例の一部を改正する条例	令和3年度布施へき地診療施設事業特別会計補正予算（第2号）
個人情報保護条例の一部を改正する条例	令和3年度後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）
証紙条例の一部を改正する条例	ポートプラザ設置及び管理条例の一部を改正する条例
公衆トイレ設置及び管理条例の一部を改正する条例	遊漁対策振興施設設置及び管理条例の一部改正
上水道事業給水条例の一部を改正する条例	隠岐の島町の区域内に新たに生じた土地の確認
令和2年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定（13件）	工事請負契約の締結〔運動公園野外照明施設長寿命化工事〕
字の区域の変更（東町風早）	指定管理者の指定〔コミュニティ・アイランド施設ビジターセンター〕
損害賠償の額を定め和解することについて〔町道中村漁港線〕	固定資産評価審査委員会委員の選任同意（3名）
隠岐の島町の新型コロナウイルス感染症に関する重要決議（発議）	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（発議）
工事請負契約の締結 〔隠岐島文化会館大ホール照明設備改修工事〕	工事請負契約の締結 〔特定環境保全公共下水道重栖真空ステーション電気機械設備工事〕

第3回 臨時会（令和3年7月21日）

令和3年度一般会計補正予算（第3号）	工事請負契約の締結（佐々木家住宅保存修理工事）
--------------------	-------------------------

編集後記

50年に一度と言われた豪雨が昨年、今年と連続で発生し、道路、河川などに大きな爪痕を残しました。

当委員会では現状把握も含め被害が多かった五箇地区を視察し、自然の脅威を改めて実感致しました。

今後、いつ災害が起きてもおかしくない環境の中、より災害に強いまちづくりが求められています。

災害に強い自治体は、行政は勿論、議会の機能もしっかりとし、行政との連携強化を進めています。

現在、議会で作成中の「議会基本条例」にも災害時の議会対応を盛り込む予定となっております。今、災害に強いまちを目指し、議会として、何をすべきかが問われています。

議会事務局

TEL(2)ー8568
FAX(2)ー3396

文責 安部大助